

調査概要

対象 : 市内在住の18歳以上の方2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出) (うち英語・中国語・韓国語アンケートを同封: 50人)
 実施期間: 令和2年9月1日~30日 (郵送配布・回収)
 回収数 : 735件 (うち英語アンケート票での回答: 4件、中国語アンケート票での回答: 2件) 回収率: 36.8%

調査結果

① 住まい・住環境への満足度 (問11・14)

- ・住まいの満足度は76.8%、住まいの周辺環境の総合的な満足度は79.3%
- ・周辺環境の内訳として、特に生活の利便性に関するものや、自然環境についての項目で満足度が高い

② 親世帯、子世帯との同居・近居 (問12・13)

- ・親世帯との今後の暮らし方について、近居を38.6%、同居を11.9%が望んでいる
- ・子世帯との今後の暮らし方について、近居を40.9%、同居を12.4%が望んでいる

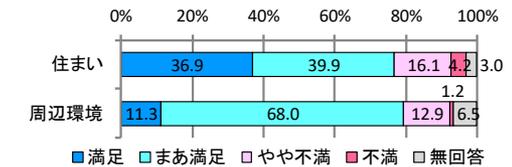
③ 転入・定住の理由 (問17・18・22)、住み替えの意向 (問19)、住み替え先 (問20)

- ・小金井市に住み続けている理由としては、自然環境や交通の利便性に関する項目を選んだ方が40%以上おり、今後住み続けるために重視する項目としても、同様の項目の注目度が高い
- ・現在の住まいに住み続けたい意向が56.5%を占めている

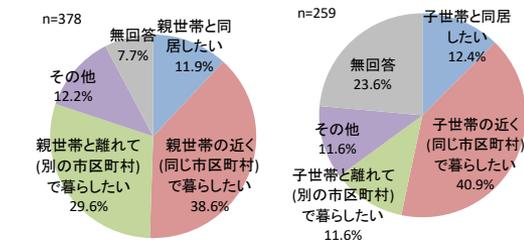
④ 住宅施策の満足度・重要度 (問25)

- ・市の住宅施策別の満足度は、「緑・水辺環境の保全」の満足度がもっとも高いのに対して、重要度でみると防災や防犯の項目の方が高くなっている

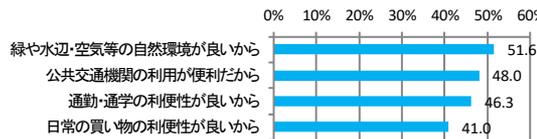
■ 住まい・周辺環境の総合的な満足度



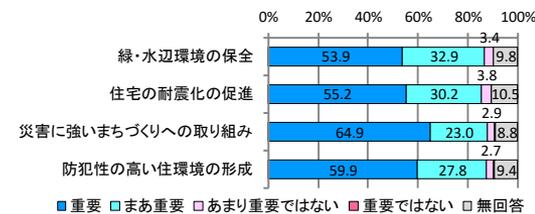
■ 親世帯 (左)・子世帯 (右) との今後の暮らし方



■ 小金井市に住み続けている理由 (上位項目抜粋)



■ 市の住宅施策の重要度 (上位項目抜粋)



分析

- ・利便性や自然環境など満足度の高い項目は、居住継続のためにも重要な項目となっている。特に自然環境については、施策の満足度、重要度も高い。
- ・親や子の近くで住み続けられるための取り組みの需要が考えられる。
- ・利便性のよいまちとして、長期で住み続けたいと思う方が多い。長期で住み続けていくために必要なことについて考えていく必要がある。
- ・市で現在取り組んでいる住宅施策については、市民も重要性を感じており、特に自然環境の整備や防犯、防災面の施策の充実が重視されていると考えられる。

まとめ

- ・自然環境を中心に住環境への満足度は高く、居住継続の意向も高い。また、親・子世帯との同居・近居の需要もみられることから、親子ともに市内で住み続けられる取り組みへの意向は大きいと考えられる。
- ・現行計画の施策の重要度は高いことから、国や都の政策動向、社会情勢等も踏まえ、現行計画の施策の継続を検討するとともに、意向を踏まえた施策についても検討していく。